

76歳、徒歩で世界一周25,000キロ



渡邊浩さんは徒歩で世界一周をしたすごい人です。今、79歳で100歳まで世界を歩きます、と言ってみえる。59歳から76歳までの17年間で地球を25000キロ以上歩いたのだ。

渡邊さんは書いている。

旅は目的を持たない方が良く、心を無にし、ただひたすら前へ歩く旅、非日常的な世界へ足を踏み入れる旅、未知の世界へ、まっさらになれる旅、自分の心の外に出る旅、外の情景の中へ入っていく旅、私はそういう旅をしたい。

ヨーロッパへ旅立つ時の渡邊浩さんの

旅の目的は

自己の夢の実現

日本と、すでに通過したアジアの4カ国及び、これから歩くヨーロッパ5カ国との友好促進
世界の平和を訴える

ということだ。渡邊さんは続けて言う。

「他人から見れば、何をこしゃくなと思われるのは、百も承知、二百も合点、私にとっては万感の思いを込めた自己主張のつもりです」と。

ぼくは渡邊浩さんの弟子にしてもらおうかと思っている。渡邊さんの本を読みたい人は、次に連絡してください。『風と歩いた世界一周25,000キロ』1500円(税込) 055-992-3901

(ぼくの「ひと筆書き世界一周の旅シリーズ」もよろしく願います。別紙お申込みカードに紹介しています。)

京都は外国語の勉強がただでできる

1月20日伏見稲荷へ妻と初詣に行った。耳をすましていると、ハングルや中国語が飛び交っていた。中・韓・英・西の4か国語を勉強しているので積極的に話しかけていった。中国人の女性グループ、韓国人の女性グループ、オーストラリア人夫婦と話すことが出来た。京都は外国語の勉強がただでできるなと思った。その上国際親善もできた。

125歳まで2年に一つの外国語の勉強を増やしていくつもりである。125まで生きられれば30か国くらいを勉強していることになる。妻も中国語を50年近く勉強している。外国語勉強は、たとえ話せなくてもボケ防止老化防止になるであろう。

100歳になっても妻と二人で外国のどこかをうろうろ歩いているかもしれない。

